

# 山中造船株式会社



全天候型ドックが支える、安定した建造品質と高い生産能力  
200t級大型ブロックの吊り上げも可能

想定分野 基礎製造(浮体式) ▶ 浮体構造物  
船舶 ▶ 洋上支援船建造



## 省エネ・高効率・安定品質を満たす内航船建造に強み

主に内航船の建造を行っており、貨物船やケミカル船など多様な船種に対応している。2014年に移転・新設した大島工場は敷地面積約52,000㎡におよび、移動屋根を設置した全天候型のドックと工場棟を備えた大規模な生産インフラで、天候に左右されない安定した建造品質と高効率な作業環境を実現。大型クレーンや加工設備を含む充実した造船ラインにより、鋼材加工から組立、艤装、仕上げまでを自社で一貫して行

うことで、年間10隻の製造を可能にしている。また、独自の省エネ船型を開発するなど、設計部門の技術力も強みであり、環境性能や燃費改善に寄与する船づくりを積極的に推進。日本船舶海洋工学会主催「シップ・オブ・ザ・イヤー2023」では、同社が製造に携わった「國喜68」が小型貨物船部門賞を受賞。持続可能な内航海運の実現に向けた先進的な取り組みを示す船として高く評価されている。

### 採用実績・施工例

#### 移動屋根付きドックで作業効率が向上



約52,000㎡の敷地内に、開閉式の屋根を持つ全天候・防音型の工場棟とドックを併設している。その間には150tジブクレーンを2基設置しており、200t級の大型ブロックの吊り上げ能力を有する。ドック寸法は120m×22m×8.5mで、最大で約6,000G/Tクラスの船舶建造に対応可能。

#### 省エネを追求した「山中標準船」



同社は、波の抵抗を極限まで小さくすることで省エネを実現した「エラ船型」を標準船としている。さらに改良を加え、一般の船型に比べ約11%の燃料費を削減させた「エラ+KL(エラ・ナックル)船型」も開発し、意匠登録。両船型をベースに高品質の船造りを進めている。

### 主要設備機械

- ドライドック: 120m×22m×8.5 m (移動屋根37m×40m/2基)
  - 工場棟: 66m×140m (移動屋根60m×30m/1基、35m×30m/2基)
  - 艤装機橋: 120m×10m
  - クレーン: 150tジブクレーン/2基 15tジブクレーン/1基 (艤装機橋)
- 天井クレーン20t/1基、4.8t/3基、2.8t/1基 門型クレーン4.8t/3基、2.8t/3基  
片脚門型クレーン4.8t/5基、2.8t/6基

### 会社情報

事業内容/船舶製造業

所在地/〒794-2112 愛媛県今治市吉海町本庄951-5

設立/1967年12月 資本金/9,000万円 従業員/51名(2021年4月1日現在)

代表者/代表取締役社長 浅海 真一 TEL/0897-84-3500

事務所/今治市

首都圏担当/総務部 TEL/0897-84-3500

E-mail/kumon@yamanaka-zousen.co.jp

URL/http://www.yamanaka-zousen.co.jp/